

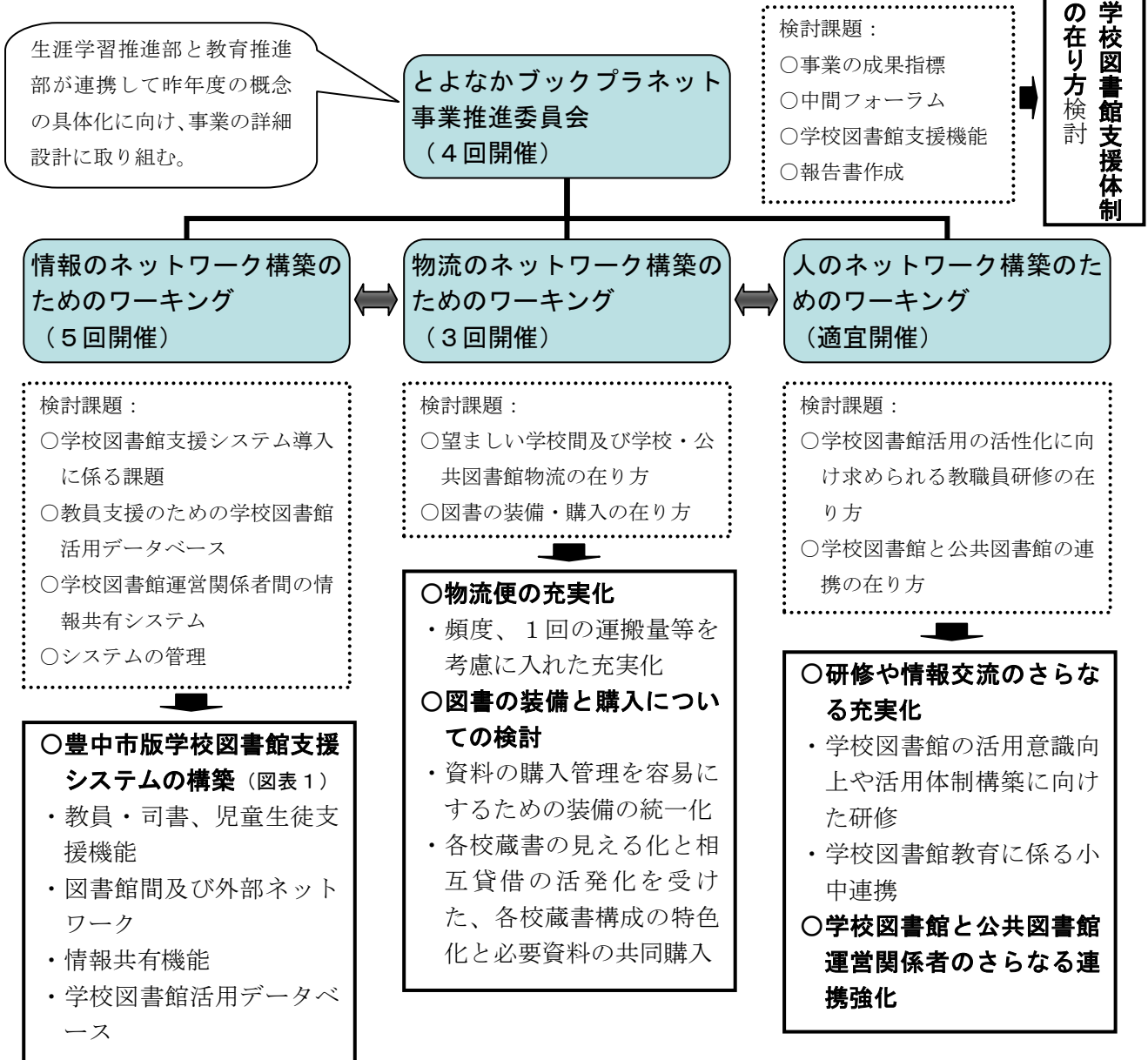
# とよなかブックプラネットの詳細設計について（報告）

平成24年（2012年）4月2日  
 とよなかブックプラネット事業推進委員会  
 （事務局：生涯学習推進部読書振興課）

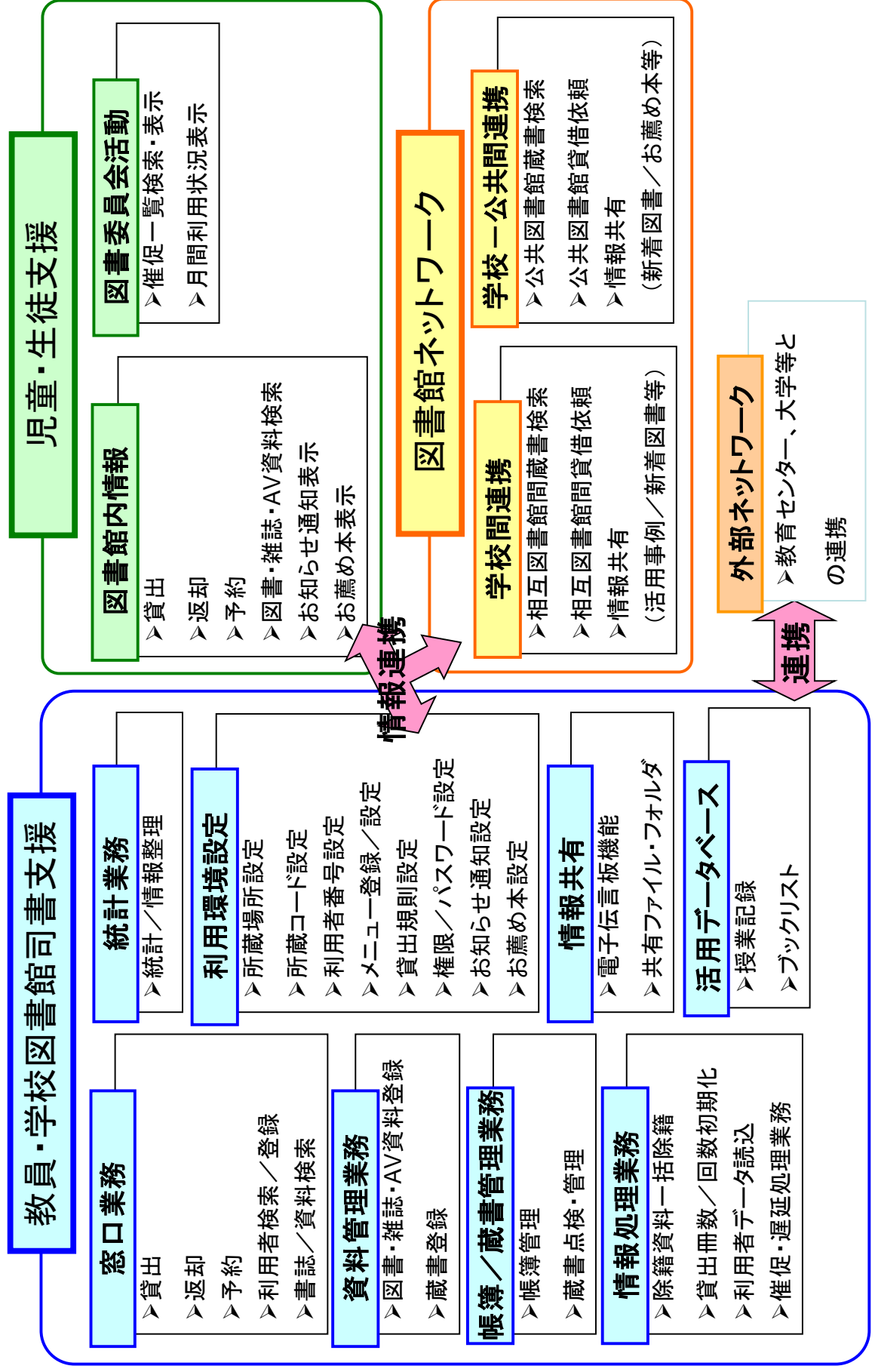
## 1. 本年度の取組み概要

- ①とよなかブックプラネット事業推進委員会における詳細設計 < 2. 参照 >
- ②学校図書館の蔵書のデータ化及びデータ作成作業
- ③市内における学校図書館活用事例の参観と情報発信 < 3. 参照 >
- ④事業中間報告のためのフォーラム開催 < 4. 参照 >
- ⑤学校図書館支援ライブラリー（庄内幸町図書館の機能変更）の試行運用 < 5. 参照 >  
 ⇒連携校へのパッケージ貸出と教員支援用図書の購入・資料提供
- ⑥先進事例の視察⇒岡山県総社市及び兵庫県西宮市

## 2. とよなかブックプラネット事業推進委員会における検討の経過と今後の方向性



図表 1 豊中市版図書館情報ネットワーク機能のイメージ



## <今年度の学校図書館教育に関わる研修会>

※学校図書館担当者（司書教諭）対象

日 時	講 師	研修テーマ
6月20日（月）	熊取町立熊取中学校 司書教諭	司書教諭の役割について
2月9日（木）	西丘小学校 教諭・学校図書館司書	学校図書館を活用した授業実践報告 グループ別実践交流

※管理職・司書教諭・学校図書館司書対象

7月7日（木）	大教大附属平野中学校 副校長	言語活動の充実と学校図書館の役割
10月31日（月）	関西大学初等部 司書教諭	学校図書館の役割と校内体制づくり

### 3. 本年度参観した市内における学校図書館活用事例 ⇒一部映像化してフォーラムで紹介

時期・場所	学校名・学年	参観内容
7月・図書館	小学6年生	歴史の調べ学習（マンダラートの活用）
7月 PC教室・図書館	小学校5年生	百科事典の利用教育（ポプラ社の出前授業）
9月・図書館	小学2年生	体の部位についての調べ学習
10月・図書館	小学校4年生	百科事典の利用教育
10月 教室・図書館	小学6年生	○テレビ朝礼を通じた図書委員による調べ学習の発表 ○司書による読み聞かせとブックトーク
10月・図書館	中学3年生	○教科担任による読み聞かせ ○短歌の調べ学習
11月・教室	中学3年生	朝の読書活動（朝読）
11月・体育館	小学3年生	絵本を活用した学習発表会における劇発表
2月・図書館	小学3年生	○司書による読み聞かせとブックトーク ○100年前の「日本の暮らし」についての調べ学習
3月・教室	小学5年生	偉人についての調べ学習（パスファインダーの活用）

### 4. 事業中間報告のためのフォーラムについて

日 時： 12月9日（金） 午後2時15分～

目 的： 「読書活動日本一」に向けた中心施策である「とよなかブックプラネット事業」の概要を広く周知するとともに、これからの児童生徒の読書活動や小中学校における学校図書館の活用を促進するための起爆剤とする。

テーマ： 「読書活動日本一に向けて 一子どもの未来が広がる学校図書館一」

会 場： とよなか男女共同参画推進センター すてっぷホール

内 容： ○女優・脚本家 中江有里さんの基調講演 「読書の面白さ大切さ」  
○とよなかブックプラネット事業の取組み概要報告  
○パネルディスカッション 『『楽しむ読書』そして『活用する読書』へ』  
コーディネーター 大阪教育大学名誉教授 塩見 昇先生  
パネラー 中江さん、教育長、司書教諭、学校図書館司書

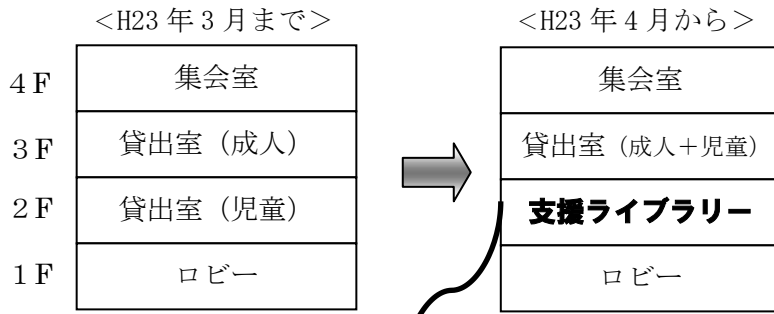
参加者： 141人（保護者・市民33人、教職員67人、市関係者41人）

主 催： 豊中市・豊中市教育委員会

- ◆成果
- ・ブックプラネット事業がめざす方向性が見えた。
  - ・学校図書館が果たす役割を再認識できた。
  - ・他校の取組みについて知ることができ、自校の振り返りができた。
  - ・意欲的に学校図書館教育を進めていこうという決意を新たにしました。

来年度は  
児童生徒向け  
フォーラムを  
開催予定

## 5. 学校図書館支援ライブラリーについて



<b>学校図書館支援ライブラリー</b>	
教員サポート資料(内 600 冊) 児童書巡回資料 所蔵予定冊数 12,000 冊	モデル校 庄内小 島田小 第六中

### H23 年度の取組み：

- 児童生徒の夏休み用資料として所蔵資料を貸出
- 季節の本・運動会や遠足をテーマにした本をパックにして巡回配本
- 最新の教員支援用図書を約 600 冊購入。

- テーマ本の巡回配本や夏休み用の貸出継続
- 司書教諭や教員とも情報交換
- 学校図書館を通じた教員支援用図書の貸出（物流で配送）
- 庄内幸町図書館での効果性を見定めて、「学校図書館支援ライブラリー」の全市への拡張について検討

## 6. これまでの経過と今後の予定

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
<b>① 人のネットワーク</b> 研修の充実等による学校内での連携強化 学校図書館と公共図書館の担当者間の連携強化	フォーラム開催	フォーラム開催	・学校図書館の役割、活用方法の周知 ・関係者間の情報交換と連携強化
<b>② 物流のネットワーク</b> 支援ライブラリーの運用 図書の装備と購入方法の検討 資料運搬システムの再構築 資料運搬システムの運用			・公共図書館による資料支援の強化 ・必要な資料をいち早く手元に届ける
<b>③ 情報のネットワーク（蔵書管理システムの導入）</b> 蔵書の整理 蔵書のデータ化 システム導入に向けた検討 仕様の決定 システム開発 システム運用			・貸出、返却等事務の効率化 ・学校内・学校間・公共図書館の蔵書の見える化と相互貸借 ・情報共有機能 ・学校図書館活用データベース
<b>④ 学校図書館支援機能</b> 支援機能の検討 支援機能の運用			・各ネットワークを統合的に管理